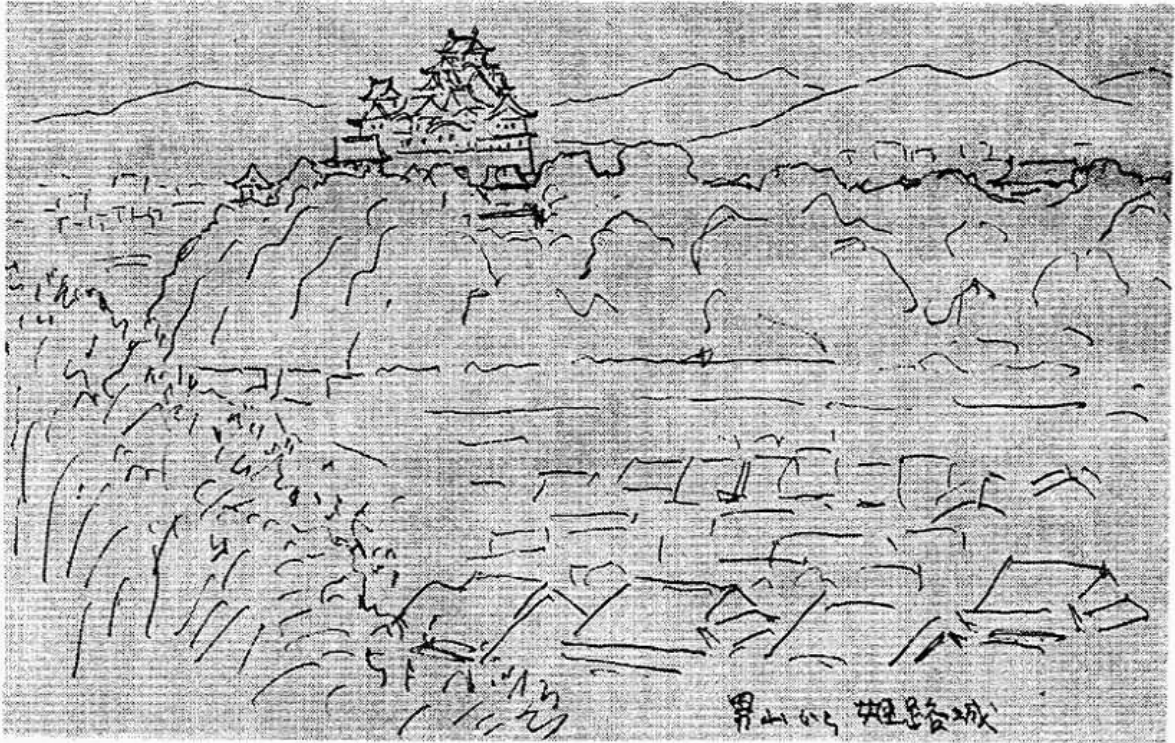


# 佐保会兵庫県支部だより

## 第6号

佐保会兵庫県支部事務局

神戸市東灘区西岡本6-9-18  
〒658 ☎ 078-431-5004



林 利三郎氏画

### 「学びの泉」

香川敦子 (昭12・理)

佐保会員が全国に分布して、どのように芽を出し花をつけているか。支部として、本部を支える役割もさることながら、その地域で主体的に活動し、本部にフィードバックできる現実社会からの情報も得たいと思う。

私たちの兵庫県は瀬戸内海から日本海にわたる県であるが、ひろいだけに後進性をも残している。

良妻賢母主義のわくの中とはいいながら、大正デモクラシーに支えられて、母校がたった二つの国立の女子最高教育機関であった「古きよき時代」の会員の、薄れることのない母校・旧師への敬慕と、青春時代の友情のきずなを、佐保会という連帯で新しい世代に引きつぎたい。

その時代のように教師になる者の数は圧倒的多数ではないが、比較的男女平等の保たれる職業であるから、教職にある会員も多い。しかし、教育の現場の多くの困難な条件の中で、女性が職業を持つことの重荷はプラスアルファとしてのしかかっている。特に家庭科教師の場合、その教科の持つ弱さと

矛盾のために苦しんでいる。公務員、一般企業でも母校が女子大であることの心細さは同様である。

「婦人に対するあらゆる差別撤廃条約」の批准が日程にのぼっている現在、国立女子大学の存在意義の一つとして婦人問題、女性解放に総合的にとりくむ部門を持つ女子大学となつてほしい。

兵庫県支部としては、新しい「女子大」会員も、「女高師」会員を前世紀の遺物とみずに……

つぎの歌を知っている方、きいたことのない方もあろうけれど

(□夕べ静にふく風の

かおれる佐保の川ぞいに

なびく柳の木したかけ

学びの泉わきそめし

おもいでの日とゆく水の

音もさやけき今日の日のよ

(五月一日開校記念日の歌)

同じ学びの泉の水を汲みかわす縁にむすばれる仲間として、新しい時代、より困難な時代の、真只中に生活しての現状をかかせてほしい。そしてそれらが前号に印部姉の御提案の文化サロンに実を結ぶことをのぞむものである。

## 支部総会報告

五月三十日は朝から小雨が降り、あいにくの天候であったが、出席者五十七名。また、今回は客員・増田勲先生が御出席下さった。会場は三宮貿易センタービル二十四階の「バーク」で十一時から開会。

### 総会次第

- 一、開会のことば 司会 溝川美枝子(昭15・家)
- 副支部長 安達英子(昭18・文)
- 二、支部長あいさつ 津野貞子(昭8・家)
- 三、新入会員歓迎のことば 津野貞子(昭8・家)
- 四、新入会員あいさつ(自己紹介) 議長 津野貞子
- 五、議事 議長 津野貞子
- ① 昭和五十六年度事業報告 支部報告 小池典子(昭33・文)
- 本部報告 村田祥子(昭31・家)
- 大学婦人協会報告 木本英子(昭23・家)
- ② 昭和五十六年度会計報告 郷美美枝(昭8・理)
- ③ 昭和五十六年度会計監査報告 田中菊枝(昭9・理)
- ④ 昭和五十七年度予算案審議 郷美美枝(昭8・理)
- ⑤ 役員承認の件 推せん委員長 上田ユクエ(昭4・文)

### 「支那だより」委員紹介、委員代表あいさつ

- 山下静香(昭22・家)
- 六、講演 「障害児が生れたら」 講師 アリス・エリザベス
- ホーム園長 グリーンホーム園長
- 小笠原平八郎氏
- 七、会食
- 八、閉会のことば

副支部長 浅野晶子(昭23・家) 議事に入る前に、特に増田勲先生が発言された。「今日の教育は崩壊の一途を辿っている。今、生徒は学ぶ喜びを失っている。教育の主体は、子供でなければならぬ」と熱っぽく語られるお声は、御高齢とは思われぬ力強いものであった。又、本年度新入会員は五名の出席者があった。議事が終わったあと、小笠原先生の興味深い講演があった。そのあと、隣室でいくつかのテーブルに分かれて昼食をとった。その間、多数の会員が、マイクの前で発言し、予定通り三時に閉会した。

県下の同窓会員は約八百名ということである。お互いに連絡を取り合い、職場で、地域で親睦をはかると共に、気軽に情報交換ができることを希望する。

土井 千鶴子(昭36・家被)

## 昭和 57 年度 役員 一覧

支 部 役 員	支 部 長	津 野 貞 子 (S 8 . 家)	本 部 役 員	監 事	宮 川 セ ッ (S 10 . 理)
	副 支 部 長	安 達 英 晶 (S 18 . 文 家)		理 事	津 野 貞 子 (S 8 . 家)
	事 務 局	内 山 美 智 (S 20 . 理)		評 議 員	宮 田 子 (S 18 . 理)
		河 原 美 子 (S 18 . 家)			佐 藤 山 子 (S 29 . 理)
		竹 喜 代 子 (S 22 . 臨 数)			小 池 典 子 (S 31 . 文)
	会 計 監 査	大 路 涼 子 (S 16 . 保)		佐 保 短 大 理 事	八 木 静 子 (S 9 . 文)
		大 飛 路 鳥 子 惠 (S 29 . 家)	大学婦人協会役員		木 元 英 子 (S 23 . 家)
					山 田 桂 子 (S 13 . 文 幼)

## 昭和 57 年度 地区 リーダ 一覧

地 区 名	氏 名	地 区 名	氏 名	
神戸市東灘区	魚 崎 茂 子 (S 10 . 理)	芦 屋 市	橋 爪 よし 子 (S 9 . 理)	
	内 山 美 智 子 (S 20 . 理)		安 達 英 子 (S 18 . 文)	
神戸市灘区	津 野 貞 子 (S 8 . 家)	尼 崎 市	佐 藤 す な ほ (S 19 . 家)	
	山 下 知 子 (S 39 . 理)		中 野 久 子 (S 29 . 理)	
神戸市中央区	横 山 し づ 子 (S 31 . 文)		真 野 瑠 久 子 (S 33 . 文 幼)	
神戸市兵庫区	上 田 ユ ク エ (S 4 . 文)	宝 塚 市	藤 田 美 恵 (S 32 . 理)	
神戸市北区	小 田 清 子 (S 10 . 家)	西 宮 市	藤 田 郁 子 (S 20 . 文)	
神戸市長田区	郷 美 美 枝 (S 8 . 理)		谷 本 英 子 (S 23 . 家)	
神戸市須磨区	近 藤 房 子 (S 6 . 文)	姫 相 赤 竜 掛 神 飾 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	溝 川 美 枝 子 (S 15 . 家)	
	木 房 静 子 (S 9 . 文)			
神戸市垂水区	田 中 菊 枝 子 (S 9 . 数)			山 下 静 香 (S 22 . 家)
	曾 谷 菊 愛 子 (S 12 . 家)			土 井 千 鶴 子 (S 36 . 家)
	竹 喜 代 子 (S 22 . 臨 数)			
明 石 市	石 立 睦 子 (S 9 . 家)	三 木 市	竹 崎 美 佐 保 (S 18 . 文)	
加 古 川 市	茶 谷 万 寿 代 (S 19 . 家)			
伊 丹 市	松 本 佳 代 子 (S 44 . 文)			

# 障害児が生まれたら

小笠原 平八郎

昨年は国際障害者年でした。多くの方がテレビ等で、障害者について心を開いて頂いたと思う。しかし、障害児を持つということがどういふことかという事は、障害児を持って見ないと、なかなかわからないものである。

封建的な家庭生活で障害児を生むことは、女性にとつて屈辱を与えられることであつたが、障害児はどの家系でも、七世代に一人生まれ、一世代に二人ずつ生まれると七世代で一二七人、その九七・五％の割合で、一人の障害児を人間は持つのである。

妊娠後、五週間以内と周産期の間に脳機能不全の病状が起こり、知恵遅れを伴う自閉、多動、固執あるいは言語の問題、そして肢体不自由の問題がおこる場合がある。例えばダウン症候といわれる子供は卵(らん)の二一番目の染色体の異状であるが、先月、正常な卵が排卵されても、今月異常があり、その時、妊娠して生まれるとダウン症の子供が生まれるのである。

脳に機能不全の病状が起る理由は、現在ではその全てを説明することは困難である。しかし、酸素の欠乏が大きな要因となつて、受精した瞬間から、周産期、生後三週間の間に脳の成長を大きく妨げてしまう場合が多い。妊娠中の母親がタバコを吸うと、母親の血液の中にとけている酸素が減少し、胎児の成長に重大な欠陥をもたらすのである。喫煙は、絶対に禁止すべきである。もう一つ、男子がアルコールを飲んでいる時の精子は、その時の体調によつては良い精子ではないから、注意すべきである。

現在、知恵おくれの子供達のおかれている状況をお話ししよう。残念ながら、医者は生まれた時に障害児とわかつていても、自分の立場上、決して障害児とは言わない。出産の初期にアプガー指数(出産危険度数)あるいは様々な原始反射を調べると分るので、看護婦によく頼んで教えてもらつて良い。これは必要欠くべからざる

検査である。

知恵遅れの研究では、胎内で、延髄がほぼ完全にできあがつて生まれてこないと原始反射の問題が起る。このことはその延髄の上の脳橋・中脳に七か月一歳までの脳の発達段階に大きな機能不全が生起することを、多くの学者が知っている。知恵遅れは育て方の問題もさることながら、脳の機能不全の問題であるという認識が必要である。

日本では知恵遅れ、自閉、多動固執という問題をもつ子供にプレイスピラーを展開している、また(1)もつとお遊びをさせなさい。

小笠原平八郎氏は、アリス・エリザベスホーム(精神薄弱者更生施設)グインホーム(虚弱児福祉施設)の園長及び神戸障害児治療教育研究所長。障害児教育及び保育の研究者で名声が高い。県立姫路短期大学をはじめ数校の短期大学の講師を勤める。上記講演も氏のお人柄から、人類愛を底辺に女性の重要性を織り込んだ、心豊かな講演。その抜粋であるが、紙面の都合で残念ながら科学的な面のみとなつた。

(2)お母さんのスキンシップを!!  
(3)集団の中へ入れなさい。

これが、今なお続いている障害児をもつ親への指導の基礎原理である。これらの子供の問題を脳との関連において把えない限り障害を取り除くことは不可能である。

情緒障害というのは「かかわる人の言葉と感情で問題をおこすこと」をいうが、幼児の場合は、よほど残酷な母親であっても、情緒障害を起すことはない。むしろ、青少年期に父母の言葉で非行に走ることがあるが、今の教育では父親に問題が多い。グインホームに来る子供の大半は、父親に問題がある。母親は耐え、耐え切れなくなつて問題をおこしている。私は母は強いと思つている。

知恵遅れの子供も、当今では健康な人と同じように生命力を持っている。父母の生きている間は問題はないが、兄弟の世代に亘つて

たとえ、経済的に恵まれていても兄弟にその養育の重荷をおわすべきではない。国家は福祉事業として障害者が生涯、幸せに暮らせるよう精神薄弱者更生施設に、一か月一人十六万円を送り届けている。福祉行政の明るい現状である。

万一のため、グレン・ドマン著「親こそ最良の医師」(サイマル出版会)を紹介しておこう。

## もより会レポート

①

### △尼崎地区▽

中居レイさんのお宅で「もより会」がもたれたのは、もう三十年近く前と記憶する。ここ数年、佐藤すなほさんを中心にして格別のお骨折りをいただき、毎年一月下旬にと定着して来た。今年も真澄瑤子さんとお世話させていただき、一月二十四日、市立尼崎高校作法室で、出席者十一名、午後五時頃、神戸市社会福祉協議会事務局長・武衛晴雄氏のご厚意により御自作の「蝶について」の映画を上映、蝶の美しい姿に目をみはり、その生態の神秘に心うたれた。この会をお育て下さった大切なお一人、芳賀真先生のご冥福を心よりお祈りしつ。

中野 久子(昭29・理数)

アンケート

松山 ちよ (大6・文)

(1) 冷水マサツを久しく続けて居りますためか、風邪もひかず病むこともなく、只老いて居ります。

(2) 庭草をいたはったり、古典を繰ったりなど趣味とでも申しましようか。

(3) 古人から若い方々から教えられることの多いことを、生きることのようにして居ります。

(4) 奈良で学んだことを今も誇りにしています。重やたんぼほをふんで、ひばりを聞いたあのころの都の趾へのあこがれが今も残って居ります。

(5) 眞摯に生きたいと人にも自分にも求めています。

武 名穂 (大8・家)

(1) 冷水摩擦をつづけて居りますおかげで、風邪をひくことは殆んどありません。苦痛を耐へることに馴れること、無理は出来ませんが、少々の不自由や苦勞に耐へ、積極的に動きまわることにはしています。

(2) 俳句、読書、音楽鑑賞(クラシック)茶道、園芸(但しこれ等は

脚の不自由の為よく出来ませんが、資料研究や鑑賞のみです)

(3) 全胃摘出再度の脚部骨折で内臓不具、蹇(あしなえ)の身障者で役立たずになりましたが、出来るだけ周囲に厄介をかけぬ様、苦痛や不自由に耐へることで、少しでも周囲の人の励ましになつたら

でも周囲の人の励ましになつたら

44名に発信し、19人のお返事をいただきました。そのうち2通は御遺族から、すでにお亡くなりになったというお知らせでした。狭い紙面にこまごまとお書きいただき、その視力の確かさに感服いたしました。いずれも後に続く私たちに大変参考になります。そして、よき女高師時代のイメージを描き出して下さいました。御協力に感謝します。(紙面の都合で一部を割愛したものがああります。失礼をお許し下さい)

よいと希って居ります。

(4) 在学中は丁度、第一次大戦後、変動期に当り、様々の事がおこり、特にとりあげることが出来ませんが、紫の袴に太い鼻緒の上草履をはき、長い廊下を測歩したことは青春時代の元氣な思い出、スペイン風邪で全寮が殆んど寝込んだことも忘れられません。

(5) 八十四年の生涯の間、天災、其他様々の苦勞を経験し、世の中の有為転変、栄枯盛衰をみてまいりました。何事も只空しい心地が致しますが、地球の世界がつづく限り又自分の生命がつづく限りは生きねばなりません。それに少しでも皆がよい世界でよい生活をつづけられる様にならねばなりません。私自身は、身心共最低人間になつてしまひましたが、只々心に希ひ、祈り、周囲に語りつづけて行きたいと思ひます。

中村 トメコ (大11・文)

(1) 腰も曲り杖を頼りによちよち歩いて居ります。耳も遠くなり自分に籠り勝ちとなりました。2年前、白内障の手術を受け、眼鏡によつて視力を得ることが出来ましたので、読書を楽しむに居ります。健全の為に出来る丈体を動かすよう心掛けて居ります。

(2) 生きてゆくよすがと思つて志

した短歌であり、その折々に努力もしてみました。結局は詩魂も詩心も持たぬ自分を省み、なほ続けて行つていいものかどうか迷つて居る現状でございます。

(3) 若い時代には相容れぬ考えを持ち、事毎に意見の違ひ明治女の時代は去つたことを痛感して居ります。何の役にも立たずこのように安穩に生かされていいのかどうかと思ひ迷つて居ります。

(4) 錦織先生をお迎へしての食堂風景、土曜日毎の廊下洗。ふしくれ立った廊下

水曜毎の郊外散歩  
水木先生に連れて行つて頂いた飛鳥地方のあれこれ

(5) 私のように家に籠つてのみ居るものは、ますます孤独にさいなまれるばかりである。現在から将来にかけての老人問題にもつながるのではないのでしょうか。佐保会

員による老後の施設をつくれぬものかと勝手な夢を描いて居りますが、何の働きも出来ない私にと、それもはかない夢に終るのではないかと思つて居ります。

箕浦 千代子 (大11・文)

(1) 別に工夫はして居りません。食事、心の持ち方等年齢を考へて無理しないこと、只今は元気でよく外出もして居ります。

(2) 俳句は上達は致しませんが50年くらい細々勉強して居ります。郷土(兵庫県)の歴史や、古代史に興味をもって居ります。随筆を書いて俳誌に出して居ります。

(3) 長男夫婦と孫と私の4人家族。他家に嫁した娘二人も大事にしてくれまます。(大阪在住)

(4) どの先生方もやさしく、一生懸命に教えていただいた。寮生活のよい思い出、文科生として飛鳥大和の見学旅行、とても現在の勉強にも役立っております。

(5) 八十歳を迎えた者は現代の若人とは大分考えが異なりますから、よく現代社会を勉強し、老若男女協調して、立派に処して行きたいです。

筋師 ふみ (大12・理)

(1) 私は卒業から昭和20年まで、子供が二人ありましたが、よきお手伝いあり、つとめて居りました。主人は住友金属につとめて非常に多忙でしたが、昭和20年に奉天に行くことになりましたので、私はやめました。二か月で敗戦、一子を失いました。

(2) 夙川の上流に居るので、よく知人が尋ねてくれるのでたのしく暮しています。花をつくり、庭の手入、奈良で習えなかつた俳句や、読書、旅行をして居ります。

(3) 何とか主人と二人で気楽な生活をしたり、又何時逝ってもよい様に片付けたり、教会の奉仕をしたり、孫のことを考えたりしています。

(4) 度々奈良の母校を尋ねます、何も彼も奈良時代はつきりと忘れられませんか。

(5) 先輩(老人)、若い人の考え方について、如何にあるべきか、きき度いと思う。

### 倉賀野 歌子 (大13・家)

(1) 先づ先づの健康、無理をしないこと(身心ともに)

(2) 普段の食べ方と調理の手ほどき(わが家の台所)をしており

(3) 他人に迷惑をかけないように、又ひとりよがりにならないように。

(4) 一の四の楽しかった寮生活と、村島先生の英語の時間。

(5) 家族の誰も彼も「わが道」を静かに歩みつづけてくれること。右べん左こしないでわが能力をひたすら磨くこと。

### 斉藤 幸 (大13・理)

(1) 学生時代からがりが勉をせず、あらゆるスポーツをしたのがよかったのか、生来の健康と相まって特別に何にもしません、頭と身体をたえず使って仕事や読書につ

支部名簿から、大正年代に卒業された方をひろい出して、次のような事柄について、往復はがきでおたずねしました。

- ① 御健康について
- ② 御趣味、御仕事
- ③ 生活信条
- ④ 奈良で想い浮ぶこと
- ⑤ 今、社会に思うこと

とめています。

(2) 好奇心に富み若い時代に何でもスポーツ音楽をやり、三人の子供が社会人になって五十五歳からペン習字をやり、現在60人くらいの弟子に正しい書写を教える楽しみがあります。

(3) 老夫婦の2人の生活ですが、月7回のけいこに趣味として関西学園に園芸の講義を聞きに行きます。少しでも世のためになることをしようと思がけています。

た。それが今日大いに役立つと思つています。

(5) 急に経済成長をした日本の現状はよき面もありますが、政治、教育、環境等気にかかることが多くあります。願くば今しばらく元気で日本の行末を見守りたい。

傘寿の同窓会を元氣な人たちが実行のとき。

### 志方 匡子 (大13・臨理)

(1) 先づ健康を保っています。積極的に別は何もしていませんが、無理なことはないように心がけています。

(2) 茶道に熱中しています。現在茶道の教授をしています。

(3) 健康を保っていきけるように、人様のお世話にならぬよう心がけています。

(4) お世話になった先生方や、一所懸命に勉強したお教室、建物などいつも偲んでいます。

(5) 私どもは苦しい戦争の下をくぐってききましたので、これからの世代に同じ苦しみをさせないように、平和なおだやかな社会がつづくようにと祈っています。

### 宅見 まさよ (大13・理)

(1) 昭和37年教職を辞してから、長年の疲れか体の具合が悪く、医師の診断の結果、心臓が悪く心不全、心臓肥大、不整脈、高血圧な

どの症状、以来、医者の方介になつていますが、少しづつ良くなつていくようで、未だ生きて居ります。

(2) 色々やりたい事は沢山ありますが、今となっては体がつつかず、目下は園芸に興味をもち、狭い庭で色々な植物育てて楽しんで居ります。仕事と云えば老夫婦二人の生活に専念して居ること。

(3) 残り少ない余命を無事に過ごし、他人に迷惑かけないで安らかにあの世に行きたいと思つて居ります。

(4) 入学時に見た春日野、飛火野の馬酔木の白い花の美しさは忘れられないものです。寮の庭一面に咲くにわげきしような可憐な花、今わが家では鉢植えにして當時を思い出しております。

(5) 教育問題。

### 藤川 志ず (大13・臨理)

(1) 二月末、インフルエンザの回復が遅れ歩けなくなりました。室内のつたい歩きから、杖をついての歩行練習、四月から道路を歩数を数え時間も計って歩きました。

毎日千五百歩の散歩。早朝の樹々の良き香りと空気を吸う為に努めております。バランスのとれた食事、テレビ体操、肥満しないように。

(2) 高血圧でしたが現在一六五九〇。高年齢のため家事一般は相当の仕事でございます。趣味にかう時間が少く、読書も充分には出来ません。テレビの恩恵によりまして、楽聖の名曲を初め各種の素晴らしい音楽を、又世界の名画、美術工芸品等、新旧共に数多く鑑賞させていただき、又世界各地の名所や遺跡など、私には旅の楽しさとして味わせていただいております。月一回の眼科検診にバスで街まで行きました時、商店街でお花を買い、その時だけお花をかけた感じのお花をながめて楽しみます。

(3) 今の体調を乱さないように努力致しまして、他の病気にかからないように、又怪我のないよう注意して人に迷惑をかけないようにと念じております。

(4) 奈良の名所はお室の方と一緒にあちこち歩きました。校内の植物園や広い緑の傾斜面、その側の藤棚。ピアノの音もなつかしいつ、町並みなどのおだやかな感じ、恩師、クラスメイトとみんななつかしく、今も色々偲んでいます。

(5) 何時も世界のどこかで争が続けられ、命が消費されていることを悲しく思います。人は英知によつ

て平和を実現せねばならないと思  
います。無駄を省いて飢餓の難民  
を援助するよう、一人一人が考え  
ねばならぬと思います。

### 新井 露子 (大13・家)

- (1) 毎日時間割の様にしているの  
もお勤めのなごりでしょう。
- (2) 時に学校へ行って若い方と駄  
弁って、教えられたり教えたりが  
楽しみです。
- (3) 台所の仕事は私の責任です。  
仏像(石仏)を尋ねるのが好きで  
すが、足が弱くなって思うように  
なりません。

- (4) 附属高女から参りましたの  
で、その時代の町なみや公園がな  
つかしく先生方もいらっしやらな  
いので、歯のぬけた淋しさです。
- (5) 私等の先ばいは皆さん偉かつ  
たと、何時も尊敬しほこりに思っ  
ています。教育者であることを忘  
れなかつたようです。

### 高橋 テル (大14・保)

- (1) 日々健康に暮せるのは仕事の  
おかげだと思っております。
- (2) 保育所経営を致しております。
- (3) 何よりも心が大事だと考えて  
おります。仕事の上では信念と基  
本的な知識。
- (4) 寮生活です。それと公園の風  
景。

(5) 奈良に行つてほんとうによか  
ったと考えております。

### 戸尾 友紀 (大14・保)

- (1) 左足が悪いのですが、内臓は  
健康です。食事によく気をつけて  
おります。
- (2) お茶、習字。
- (3) 長年お茶を教えて、お茶は他  
の稽古事とちがつて心の修業をモ  
ットーとして居ります。皆和の精  
神でなごやかに楽しい日々過して  
居ります。
- (4) 奈良公園の美しい風景、仏  
像。
- (5) 今若い人達の思いやりのない  
態度、又、礼儀にかけている事が  
気になります。

### 内海 義子 (大14・臨理)

- (1) 只今のところ健康に過して居  
ります。特に工夫はして居りませ  
ん。日常生活はほぼ規則正しく、  
食事は新鮮な野菜を主にし適量を  
おいしく食して居ります。
- (2) 最近俳句の会に入門しまし  
た。絵更紗の真似事をしていま  
す。きまつた仕事はありません。
- (3) 15年間介護した夫を昨年見送  
りました後、独り暮らしです。娘達  
にたのまれ留守番、孫の世話など  
して居ます。

- (4) 錦織先生、高橋先生等御高齢  
の御身で御懇切、御熱心に御教導

下さいました御姿を思い出し、感  
謝申し上げます。清水半吾先  
生、小野先生方と日没までバレ  
ーボールに興じたこと等忘れられま  
せん。

### 日下 初子 (大14・文)

- (1) 子どものところからいつも工合  
のよくない気分、まだ生きてい  
ることふしぎです。眠ること食べる  
こと、動くこと、皮膚を刺激する  
こと、随時。特に工夫しません。
- (2) 読むこと書き綴ること、食事  
支度、洗濯、掃除、土いじり、皆  
趣味、人に会うこと、黙って独り  
居ることどちらも楽し。
- (3) 四人の子女はそれぞれ社会人  
として生活しているし、夫は送っ  
たし、もう何時お迎えがきても当  
然ですから、何とかハタメイワク  
が少いように心がけています。
- (4) なぎやあしびの原生林の美し  
さ、鹿の眼。
- (5) どの国人も戦争の効果をあ  
げること夢中になっているよう  
です。ばかばかしいと感じないの  
でしょうか？人類絶滅の期遠から  
ずとなげいています。国家の障壁  
をはずしたらどうでしょうか？

### 加藤 咲子 (大15・文)

- (1) 78年、無理をしないで健康、

歩行不自由(60歳から左足のみ)  
(2) 読書、句作、お習字、音楽  
会、美術館によく行く。

### 土田 清子 (大15・臨園)

- (1) 特に工夫はしていませんが、  
自然を友としてこの生活が適度の  
運動ともなり、娯楽ともなつて健  
康につながっているのでしょうか。
- (2) お茶、草花園芸。
- (3) すべての公職から退き、静か  
に信仰に生きたいと思つていま  
す。
- (4) 五号教室での事、寮生活等々  
年と共に想い出す事が多くなりま  
す。

### もより会レポート

②

#### △伊丹地区▽

桜も見頃の四月初め、行基様ゆ  
かりの昆陽池のほとり、市立労働  
福祉会館で、第一回もより会をも  
ちました。全く初めての集まりで  
もあり、全ての点で当番も不安で  
したが、嬉しくも八名もご出席。  
特にテーマも設けず、自己紹介  
から自由に話して頂きましたが、  
数分もたつと、お互いにすつかり  
打ちとけ、話題も、仕事、趣味、  
伊丹の地理、歴史から、育児、家  
族関係等多岐に渡りました。

#### △西宮西部地区▽

初めての事ですので、身近な方  
々にだけ呼びかけることとして、  
夙川流域二十六名に案内状を差上  
げました。左に要項を記します。  
日時 四月六日(火) 午後一時半  
— 三時半、場所 夙川公民館、出  
席者 十名、会費 五百円。

自己紹介、その他話はずみ、  
お互学ぶこともあり、あつという  
間に時間が過ぎました。  
谷沢 郁子 (昭20・文)

# 氷上郡柏原町佐保会座談会

57年7月24日 大手会館(旧柏原高女)で

⑥ 皆様もお顔を合わせていらっしゃらない方もあるようで……

④ 本当にそう……いい機会を作っていたありがたいとございしました。

⑤ 連絡いただいてドキドキして、なつかしくて……

④ 私の期以前は推せんで、県知事さんの。私たちのときから試験になったのです。寄宿舎も錦織(にしごり)先生がおやめになりましたときです。

⑧ 今年、柏原中学に来ました。自分の子どもが大きくなったので、奈良のクラス会に出ました。が、なつかしくて涙が出ました。

③ 柏原高校につとめています。以前はできる子は奈良へいったのですが、今は、立命と両方通ったら立命にいくみたいです。

⑥ 私は香川県から奈良にいきました。小さい時から父が、いくなら奈良と聞いていたので、憧れて、迷わずにいきましたのに……

⑥ 大阪大手前高校からいきました。学生運動が盛んで、同じクラスの男の子が機動隊ともみあって、死んだのです。すごいショック

クで。大学へ行って考えようと思つて、奈良女を選びました。結婚してこちらに来て、役場につとめました。今までと全然ちがう環境、初めての夫の家、したい放題の学生から、ここに適應するのに十年かかりました。友だちもなし、気がわからぬ。その中

- 出席者
- ④ 菊沢道子 (S6・家)
  - ⑧ 高見秀子 (S26・理)
  - ③ 足立瑞恵 (S42・家修食)
  - ④ 広内保子 (S44・理植)
  - ⑧ 山本尚美 (S48・文社)
  - ④ 田中菊枝 (S9・理神戸)
  - ⑥ 香川敦子 (S12・理姫路)
  - ③ 土井千鶴子 (S36・家被)

で、大学でつけた力を試したかった。今日もなかなか気よく出してくれないのを、けんかして子どもを押しつけて。私たちの役場は育児休業がない。産休も県職は八週間なのに六週間です。私が組合で執行部になったとき、女性の為にいい出すと、町長交渉にできるが、つきには消える。悔しいことに、女は四十六歳定年という労資協定があるのです。法的に効力はない

けど……これも女の係長ができたことと交換条件らしいのですが……

⑥ こっちへ来たきつかけは、和歌山で就職していたとき、座禪の集会に参加して主人と知りあったのです。今も三昧になることをして自分の内部ではげんでいます。自分に自信がなくて、何かを求めていたのです。沢野さんが亡くなられたことをきいて驚きました。同じ山南町だからご一緒に来た。



出席者の皆さん

② そうです。理科は文科と合併の教育学などは自由でした。そのときが一番内職が盛んで……

③ その頃でも内職あったのですか。安心した！昔の人はよかったです。安んじました。あなた方はあかんと……

⑧ 古い寄宿舎では、二ノ三、二ノ四の食堂を合併して、でき上がった料理を運んで来て分けました。

⑥ 昔は各舎で作ったんです。誰が作ったのですか。

③ 皆順番で当番がしたのよ。献立は？

④ 一月分をその舎で定めて。カロリーも計算して。

③ 私たちの頃は、食堂だった所も、四人住んでいました。台所の板の間を食堂にして

④ 自炊で、理科の方もお料理ができてよかったですね。

⑥ そうです本当に。

⑧ 袴だったのですか。

④ 袴でヒールのくつ。ハイカラな人が、足袋で下駄でした。

③ 私のときは、袴で下駄。ちらほら洋服の人がありました。

⑥ おとし、奈良女の先生や友だちと会をした時、女子大という特別なところは、どんな存在意義があるかっていう話になって、

先輩としてどう思われます。

⑥ 今のままだったら心配ですね。婦人問題の原点に立つような部門を確立させるとかすればね。

③ 今、四十二歳から三十五歳くらいの人は、男女差なくやって来ているけれど、その下はかわい子ちゃん志向がつよい……。柏原高校で普通科志向がつよく、家庭科がだんだん減っていく傾向です。そういうことをどう思われます。

④ 私なんか、つぶせと思つてます。

③ やっぱり！普通科の尻尾につくより、というと教育的なことになってしまふけれど、実質いいと思うのです。

④ 本当はそうだけど、昔からの実庭科に対する偏見ですね。

⑧ 普通科の中で、もっと重視するようにした方がいいと思えます。私たち働く女性がつづいていく皆となる所であってほしい。私の学生の時、先生方は卒直にいつて、どうしたらいいかわからない感じでした。だから、こういう機会は貴重だと思う。大学で学んだことを社会で試して、女子大にこうしてほしいといつていくことが……。女性の自立と解放が、女子大と繋るべきだ、支部だよりもこういう繋りを生かしてほしい。

② 柏原高女をやめられてから、連合婦人会長をなさったり、お習字にみえたり、いつも心やすくものをおっしゃる方でした……

私の頃は、出席簿は脊の順でした。体操も座席もその順で……

⑥ 席きまっていたのですか。

② そうです。理科は文科と合併の教育学などは自由でした。そのときが一番内職が盛んで……

③ その頃でも内職あったのですか。安心した！昔の人はよかったです。安んじました。あなた方はあかんと……

⑧ 古い寄宿舎では、二ノ三、二ノ四の食堂を合併して、でき上がった料理を運んで来て分けました。

⑥ 昔は各舎で作ったんです。誰が作ったのですか。

③ 皆順番で当番がしたのよ。献立は？

④ 一月分をその舎で定めて。カロリーも計算して。

③ 私たちの頃は、食堂だった所も、四人住んでいました。台所の板の間を食堂にして

④ 自炊で、理科の方もお料理ができてよかったですね。

⑥ そうです本当に。

⑧ 袴だったのですか。

④ 袴でヒールのくつ。ハイカラな人が、足袋で下駄でした。

③ 私のときは、袴で下駄。ちらほら洋服の人がありました。

⑥ おとし、奈良女の先生や友だちと会をした時、女子大という特別なところは、どんな存在意義があるかっていう話になって、

先輩としてどう思われます。

⑥ 今のままだったら心配ですね。婦人問題の原点に立つような部門を確立させるとかすればね。

③ 今、四十二歳から三十五歳くらいの人は、男女差なくやって来ているけれど、その下はかわい子ちゃん志向がつよい……。柏原高校で普通科志向がつよく、家庭科がだんだん減っていく傾向です。そういうことをどう思われます。

④ 私なんか、つぶせと思つてます。

③ やっぱり！普通科の尻尾につくより、というと教育的なことになってしまふけれど、実質いいと思うのです。

④ 本当はそうだけど、昔からの実庭科に対する偏見ですね。

⑧ 普通科の中で、もっと重視するようにした方がいいと思えます。私たち働く女性がつづいていく皆となる所であってほしい。私の学生の時、先生方は卒直にいつて、どうしたらいいかわからない感じでした。だから、こういう機会は貴重だと思う。大学で学んだことを社会で試して、女子大にこうしてほしいといつていくことが……。女性の自立と解放が、女子大と繋るべきだ、支部だよりもこういう繋りを生かしてほしい。

先輩としてどう思われます。

⑥ 今のままだったら心配ですね。婦人問題の原点に立つような部門を確立させるとかすればね。

③ 今、四十二歳から三十五歳くらいの人は、男女差なくやって来ているけれど、その下はかわい子ちゃん志向がつよい……。柏原高校で普通科志向がつよく、家庭科がだんだん減っていく傾向です。そういうことをどう思われます。

④ 私なんか、つぶせと思つてます。

③ やっぱり！普通科の尻尾につくより、というと教育的なことになってしまふけれど、実質いいと思うのです。

④ 本当はそうだけど、昔からの実庭科に対する偏見ですね。

⑧ 普通科の中で、もっと重視するようにした方がいいと思えます。私たち働く女性がつづいていく皆となる所であってほしい。私の学生の時、先生方は卒直にいつて、どうしたらいいかわからない感じでした。だから、こういう機会は貴重だと思う。大学で学んだことを社会で試して、女子大にこうしてほしいといつていくことが……。女性の自立と解放が、女子大と繋るべきだ、支部だよりもこういう繋りを生かしてほしい。

近代日本の生んだ知識人のなかで柳田国男ほど深い共感を呼び、多くの人々に愛されている人は、あまりないのではないかと思えます。

生涯をかけて開拓した柳田民俗学は、文書に記録されない民間伝承に史料価値を見出し、この蒐集分類という作業をおして、日本の社会構造の深層を掘りあてるところに成功しました。

晩年発表された「故郷七十年」(神戸新聞に連載された回想録)は、こうした学問の特色を理解す

古人の愛し来たり住むべき土地柄であった」(妹の力)

故郷のことをこう書いてなつかしんでいます。ほんとにこころは、特別の英雄伝も、有名な社寺もありませんが、愛し来たり住むべき処であります。速く「風土記」の時代より無名の多くの人々が豊かに、やさしく、そしてもの悲しく生きつづけてきた民俗学の原郷なのです。

特に柳田国男の生家のあった旧田原村辻川は、山陽と山陰を、中国と大阪、京都を結ぶ二つの道の

## と「さ」の紀行 柳田国男のふるさと福崎

江尾昌牛 (文B・16)

るのに興味深いエッセイでありました。これによると、故郷(神崎郡福崎町)での幼少年期の生活体験が、かれの学問の世界と不可分な関係をもっていることがわかります。

「諸国の旅を重ねた後に始めて心づいてみると、我村は日本にも珍しい好い処であった。水に随う南北の風透しと日当り、左右の丘陵の遠さと高さ、稲田に宜しき緩かな傾斜面、飯に瀬戸内の海の豊かなる供給がなかったとしても、

交わる十字路でした。

「辻川は、海岸の形的あたりを朝立ちすれば、十時頃までには、鮮魚が届くところである。……北の方からは、山茶売りも下ってきた。……物売りが私たちに世間を教えてくれた風物詩であったが、中でも忘れられないのは、伯州の金こき売りである……」と回想記に書いています。こうした諸国の物売り達の語ってくれた物語が、感じやすい柳田少年の心につまでも残っていたのでしょ。

なお柳田民俗学を語る時、必ず引用される「私の家は日本一小さい家だ」という生家は、辻川の十字路から東に向う街道筋にありました。ここは座敷が四畳半、間に唐紙があつて隣も四畳半、横に三畳ずつあつて、入口の三畳を玄関、他を茶の間、そして座敷の隣の四畳半を納戸、と呼んでいました。ここに二夫婦くらすというこ

とは、初めから無理なことで、わづか一年余りで兄嫁は実家へ逃げて帰ってしまいました。民俗学への志向が、長兄の不幸をまねいた狭い家に起因していると、みづからが語っているのは、この学問を考ふるうえで重要なことだと思えます。

その他、小さな森の稻荷様、遠い海の見える日光寺山、深い藍色の水を湛える亀坪の谷、市川の清流の駒ヶ岩……これらにまつわる珍しい伝承は、民俗学の重要な部分となっていました。

それにもうひとつ、柳田国男が十一歳から十二歳の頃、辻川の旧家・三木家にあずけられたことも、忘れることはできません。三木家には四万冊の蔵書があつて、ここの書庫に自由に出入りしては、和漢の書を読みあさり、学者としての人格形成をしていきました。

もうこの頃の田原村辻川を知る人々は、殆んど他界し、広い自動車道が通る今、昔の道はひっそりとした裏街道になりました。しかしなつかしい年中行事は繰り返され、祖母から母へ、母から子へ、昔がたりは伝えられていきます。昭和四十八年、日本一小さい生家は、辻川鈴ヶ森神社に移築され、旧三木家とともに、兵庫県指定文化財として大切に保存されており、また当時のハイカラな明治建築としては数少ない郡役所も、近くに移築されることになりました。

愛知県の明治村のように、何もかも、移築して残すことには少し反対なのですが、あまりにもはげしく都市化していく福崎町としては、どうしようもないことなのでしょう。

狐が出たという西光寺野は、中国縦貫道第一の規模のインターチエッジになりました。「北条と辻川の間、郡境の所に、大きな池が三つほどあり、淋しい追割の出そいうな所であった」という大きな池の畔には、すばらしいサービスマリアができ、終夜ネオンが瞬いています。

「常の日は、故郷は睡っていた。田植えや収穫の日の大いなる緊張、盆と正月と祭の支度、めつたに起こらない吉凶の行事、そういう算えるほどしかない大事件を除いては、その後はただ快い疲労と、静かな回想とがcaえて人の心を沈ませていた。勇気や冒険や計算の何も要らぬような平和の日だけが長く続いていた。旅に働いて戻ってくる人たちは、これを第一に故郷の有難味の中に算えていたのである」(故郷異郷)

こんな一節を読みながら、故郷が貧しくなって荒れていくより、豊かになって都市化していくほうが、よけい寂しいのではないかと、ふと思ふこの頃です。

### 姫路の子守唄

ねんねんよ ねんねんよ  
あれあれ高い広嶺の  
お山のかあかあも、ねんねした  
良い子じゃ泣くなよねんねした

ねんねんよ ねんねんよ  
あれあれ広い姫山の  
お城のぼっぼも、ねんねした。  
良い子じゃ泣くなよねんねした

撰集 溝川 美枝子



# 佐保の

## うたびと

松山 ちよ (大6・文)

つつましく光りおちくる羽子ひとつわが瞳  
にみせて涯なき蒼穹 (T9・奈良にて)  
つくつくほふし今日を米寿のわれに來てく  
りかへしくりかへし何を訴ふる (S56)

野々宮に到る道すがら

中村 杜女子 (大11・文)

わが娘はや乙女さびすか その面を母にか  
くして涙ぬぐうよ

簾の秀のへにゆるる天つ日の光は散りて  
我が眼を刺すも

日下 初子 (大15・文)

紅の瓔珞なしてベゴニヤは花咲きつぐよわ  
れも生きつぎて  
人の生のさだめを超えし幸いも夢見望まな  
いのちあるかぎり

横田 すへ (昭2・文)

今に至る私の命に幾人の支へのありし赦し  
のありし  
娘の髪に折に白きが見ゆるまで事なく我が  
生くる幸

川瀬 一子 (昭4・臨家)

盆來ると磨く仏器の紋様のうする見れば  
父祖もはるけし  
尺ばかり鉢に銀杏は育ちたり種賜ひたる友  
すでになく

寺西 とく (昭7・家)

木曾松の焼判新しき組板の木の香の上に白  
き蕪置く  
へた・へそ・それきしなどあり異国の青年  
の持つ日本語のメモ

牛尾 昌江 (昭16・文)

野の雨に濡れつつ素直になりゆけり真土の  
醸すいのち匂ひて  
うす光る青磁の壺の静もりに花さすことを  
ためらひており

田辺 幸子 (昭17・文)

アメリカの貧しき語ることばありアトラン  
タより帰りし人の  
貧しさなどどこにもあらぬこの国に心まづ  
しき人ら充ち満つ

竹崎 美佐保 (昭18・文)

知り合へば草の側より呼ばふらし野の幽か  
なるねち花に逢ふ  
終るときは別の何かの始まるるとき五月の風  
の中にて気付く

東 昌子 (昭19・文)

ゆつくりと桜の下を歩みたり職を離れし日

の夕ぐれを

散りまがふはなびら肩に脊に浴びてわが歳  
月のふいにいとほし

鴨池にて

川口 志保子 (昭19・文)

ひかりつつ早春の雨の撲つ迅し鴨らはまる  
く浮きつらなれり  
羽ばたきて鴨の一羽がつくりたる滯ひかり  
つつひろがりゆけり

平井 恵美 (昭19・文)

まどろめば夢に入りくる海の上の夕映えし  
ぐれ時雨れやまずも  
しろじろとひとりなりけり柱穴乾く遺跡の  
にぶき冬の陽

米満 昌子 (昭22・文)

山風に樹々濃やかに揺れあへば清しく人を  
愛しし記憶  
重なる山の遙けさ遠山の頂近く灯の点り  
たり

山下 静香 (昭22・家)

麻酔して歯をけずられおち桃節句炎上の雛  
の顔がゆききす  
われに似し雛を戦火に失なうもひいなの一  
世はほほえまぬもの

依田 澄江 (昭22・臨家)

梅雨あくど聞きて降りたつバス停にプラタ  
ナスの影濃く連らなれり

土のプリン無心につくる児の傍ひつそり子  
とかげ石にはらばう

林 茂代 (昭32・文園)

父なくて生ひたちし生徒子を得しと肌みず  
みずしくほこりに告ぐ  
肉落ちし父の脊中をぬぐひゆくことさらあ  
らき言葉かけつつ

日野 千恵子 (昭32・文英)

杳き日のひたぶる心よみがえる薬師寺の庭  
風強くして  
片頬にはかげ受けつつ薪能に見入りし人の  
面の頸ち來る

田中 佳代子 (昭40・文園)

ひとときの身の火照りもて見上ぐれば空に  
ひろがる硬き楽の声  
ゆるやかに宙を舞ひるる朝鳥の何に乗りて  
か豊かなるさま

畑岡 美智子 (昭43・理動)

わが肌のぬくみより出で吾子一人笑をたた  
えて一步あゆみぬ  
今日よりは母と子なりというごとく手に調  
子とりあやうく歩む

高階 時子 (昭48・文園)

母の骨埋む墓地よりほの白く菱の花咲く池  
に通へる  
枇杷熟るる真昼みつけし朱鷺色の私の産着  
よ母逝きて後

# 新入会員のつづやき

教師になつて

藤本 幸代 (文英)

最初の一か月は、教壇に立ち生徒の前で授業をするだけでせい一杯でした。六月頃から、生徒の様子がほんの少しわかるようになってきました。一生懸命ノートをとる生徒もいれば、つまらなそうな顔をして、早くこの授業終わらなかなあ、という様子の生徒もいます。このような生徒を見ていると、教師というのは、生きている人間を相手にしているのだ、とつくづく感じます。生徒は、千差万別です。これまで頭の中で考えていた場合と、自分が実際に生徒に接してみるとでは、ずい分と違います。だからこそ、やりがいもあるのでしょう。

まだまだ教師として一年生、がんばっていきたいと思います。  
(県立竜野高校勤務)

## 小さな感動

安田 恵子 (大学院理学部 研究科)

忘れられない、小さな感動がある。蛆の解剖をしたことがあった。半透明から白色の組織の中に、マルピーギ管だけが、鮮かな

朱色であった。汚物の中に生き、人々に嫌われている生物が、こんなに美しい体を持っている。思わず胸が熱くなった。

奈良女子大学の大学院で、昆虫の変態生理について、研究を始めて、今年で三年目になる。勉強は楽しく、生きている物を見つめることは大きな喜びではあるけれど、時に力のなさを思い知らされ、つまずくことがある。そんな時、私を再び勉強へと向かわせてくれるのは、大きな成果でもなく、勉強に対する意欲でもなく、他の人から見れば取るに足りない小さな感動なのではないだろうか。そんな小さなできごとを大切にしたいと思う。

(奈良女子大学人間文化研究科 在学)

## 前向きの努力を

榎谷 佳子 (理生)

理由あって昨年は進路選択ができません、今家にいます。目標の定まらぬ不安。社会と隔たった生活による人恋しさや、自己の生活が退行的と思える毎日。何度も頭をもたげる進学へのあこがれ。それに對抗する、自立すべきだ、という

気持ち。

大学の先生からいただいた耳に痛いながらもありがたい忠告。  
『人生には幾度か転機があり、その時はそれをしっかり受けとめ、決断せねばならない。又、寄生生活はいけない。つまり、その生活が本人にとつても、回りの人にとつても、あなたがそこになくてはならぬ存在である生活を目指すべきである』

二十三歳という年齢をかみしめ、前向きに努力し、寄生生活から脱皮したと、来年の支部総会では言えるようにしたいです。

## 佐保会考

山下 静香

(昭22・家)

佐保会ってそんな会だったのですか。時々、佐保会、佐保会とお勤め先で聞いていたのですが。私は入会していません——奈良女子大学。関西国立大学名があげられる時でも、残念ながら出ていませんよ——運動ばかりしていてこんなに成績が下ったら、お母さんの大

學位しか行けませんよ、と父兄会で言われましてね——今度の編集に当たっての電話である。若い層にとつてはすでに、ここまで来ていたのかと驚きであると共に、佐保会と奈良女子大学の問題点を、実に端的に言い得ていると思う。佐保会はどうなるのかと、心に燻りかけていたものを、これを機会に考えて見よう。

年配者にとつて佐保会は心のよりどころ、若い日の延長線、いえ、回帰点と極めて心情的であり、それで充分事足りて来た。昔の数少ない卒業生は、女性として相応に知的な社会的ポストが保障され、実績を積み信頼もされて来た。それでお互いに同窓会員として、一種の派閥的つながりを持つこともなく、更にそうした社会的つながりの意義など考える必要もないという、本当に良き時代であった。

しかし、今は違う。女子の大学卒の数も、社会進出も増加している。それ自体は喜ばしい事であるが、男女共学の大学を背景としている人が多い。彼女達は、過去の男性社会の中で作りあげた、色々な意味での強力な同窓会の一員として進出している。共学の大学を出た初期の女性が、はや、社会の中堅として確実な歩みを見せてい

る。ポヤッとしている私たちでも、何となくポストが少しずつ浸蝕され、沈滞して行くのを残念ながら感じるのである。

その原因は、立派な先輩の方々も、女性の社会的条件から人事権を持つ座にいる人が少なかった、恵まれていたのでかえって後継者の養成は、意識的に組織的に働きかけることをしなかった、又、母校の大学自身、良き先輩のいる教員養成を捨てた、そのため大学、短大、高校の拡大の波に乗り得なかった、などが社会的、政策的原因ではなからうか。更に女性には結婚というハンデが重たいが……

現代社会では、もう個人の時代は過ぎ去ってしまった。あるポストにつき、その相互の有機的な働きによってはじめて人は実力が発揮できるのである。この縦横のつながり、このあたりが同窓会の現代理性として必要なのではないだろうか。

淡泊であった意識、甘美であった同窓会の体質から、より人間社会の生活者としての強力な結び付きへの脱皮が急がれるのではなからうか。同窓生一人一人の自身の「科」をはなれての熱い認識が、好転への方向付けの一つとなる事をいひのる。

# 国際ソネット クラブの設立

有職女性のための国際組織

金丸 寿子 (昭18・文)

国際ソネットは一九一九年にアメリカのパックファローで誕生し、現在はシカゴに本部があり、四十八ヶ国に八百余のクラブと三万余の会員を擁する有職女性の組織であり、男性のロータリークラブと性格は殆んど同じと考えてよい、親睦と社会奉仕を念願とする人々の集りである。

イギリスのサッチャー首相、国連の副事務総長ヘルビス・シピラ女史など、どの国も女性の大使、議員、裁判官、実業家が名を連ねており、職業上、指導的地位にあり信望厚くソネット（インディアン語で誠実）という語に適わしい人柄であり、最も大切なことは国際社会、地域社会に奉仕する為に、各自の能力と経済力を提供したいという熱意を持っていることを会員の資格として認めている。

例えば難民の救済、未開地の子供のためにクリニックを設けるとかスラム地区の向上、アメリカ・エヤハルト奨学金等女性研究者への援助、女性差別や人種差別など、社会制度の不正の是正の為の戦いなど、国境を越えた協力は拡がってゆきつつあり、偶数年度に米国で開かれる総会や、奇数年度にアジアのどこかで開かれるディスクリクト十七地区の総会（昨年はバンコク、来年は台北）には日本各地のソネットクラブから会員が出席して、親睦を深め、共同研究をし、次の協力を約しているのである。今こうして書いている間、米国のサンジェゴで総会が開かれており、日本の各ソネットクラブから合計二十名が出席し、京都の岩井さんが旗手で国旗を持って開会式に入場しているはずである。

計をと、本当にささやかなことから第一歩を踏み出している。今のところ入会希望者からポツポツと電話が入っており、一業種一名という制約に合致するように人選をしているが、アメリカと日本では社会制度が違うため、アメリカの職業分類にはめこむのは頭を要すること、この係りをしてはいる会員は大変である。まず今まで違う業種について全く知らなかった会員同志が縁あって結ばれたことを大切に、例え雑談であろうと、しげしげと会い仲良くなり、お互いの気心を知り合うこと、会えば楽しい仲間であることから始めたいと思っている。

日常の何気ない話の中にも、山の婦人問題、少年問題、老人問題、行政への不満等がこぼれてくるものである。やがてそれを解決する為に、会員の協力と努力の目標として昇華させていくには年月を要する。そうして内からの盛り上がりから協力態勢を作っていく。神戸ソネットクラブに対する期待も、三十人いれば三十通りあるし、「奉仕とは」「親睦とは」ときいても、一人ずつものさしが違っている。会員の経済状態もまちまちで、それが微妙に発言の中にあらわれて相手を傷ける場合もあり、何にお金をつかうことに価値を認めるかという価値観の差に到っては千差万別である。

国際会議でどんな華やかな場面をみたかとか、婦人の地位を高める為にどんな活躍をするかとか、大きなラップを勇ましく吹き鳴らすことを期待して頂いたかもしれないけれど、私はおよそ、そういうことは正反対の人間なので、たよりない紹介をして申しわけないと思つて、したためている次第である。

## もより会レポート

③

### △神戸中央区▽

日時 昭和五十七年三月十三日  
出席者 木庭（昭20・家）、浅野（昭23・家）、西（昭24・家）、横山（昭31・文史）、井上（昭32・被）、阿部（昭36・英）

歴史的にも由緒のある生田、葺合の区名が消え、中央区が生まれ二年目によく第一回の集まりを持ちました。場所は北野の異人館、まさに、中央区に住む同窓生にとって、打ってつけの場所です。浅野晶子姉の御尽力で、異人館キャサリン邸付設神戸女子短大セミナーハウスを使わせていただきました。邸内をゆっくり見学して明治の情緒に思いを馳せ、セミ

ナーハウスもまた異人館の雰囲気にしっくりと溶けこんだ薄酒なたずまい。いかにも神戸らしい明るいお部屋に集まりました六人は、お互いに初対面が多いのに、自己紹介を兼ねての語り合いは、同窓生ならこそその信頼とごやかに充ち、予定の二時間をはるかに越えても尚、名残り尽きない思いで、またの集りを期しつつ、お別れいたしました。

### △姫路地区▽

五月十五日、姫路駅二階、日本食堂に於て、ささやかに「姫路の集い」の会を持ちました。例年この会の中心であられた見満亀野姉がご病気の為欠席で残念でございましたが、メッセージを頂き、又、本部よりお見舞に来姫された郷美美枝姉、田中菊枝姉がご出席下さって、花を添えて下さいました。出席者二十二名、一年振りの出会いに各自の近況報告、「佐保会だより」の担当の事など会食をしながら歓談、お互いに励まされ力づけられる思いでした。溝川美枝子姉がお手製のよもぎ餅をご持参下さり、皆で賞味し、なごやかな中に来年を期して散会致しました。

三木 敏子 (昭20・家)

# 卒業9年目の報告

谷本 彰子

(昭49・文英)

奈良を離れ、教職に就いて九年めとなりましたが、いまだに勤務して日も浅いような心境から脱け切れません。現任校で二校めですが、前任校では、機会あるごとに研修会に出席しました。生徒への対応の仕方、親との懇談での話の内容、更には、問題生徒やその親との話し合いの内容や心の通わせ方など、反省すべき点ばかりで、でも、あの時にはああするしかなかった、若さ故の良い点もあったのではなかったかと、ひとりながさめてもおります。

しかし、今から思うと楽しく過ごしました。生徒の、流行への敏感さに驚いたり、授業中の私語に腹を立て、生徒と口げんかをした、なかでも強く私の心にとつても残るであろうことは、卓球部と演劇部の顧問をしたことです。学生時代にスポーツをやっていたい私には、卓球部顧問は重荷でしたが、生徒と打ち合っ、がむしやらにつとめたこともありまし

た。演劇部では、生徒達が一生懸命にやってくれ、地区の発表会で準推薦をいただきました。

任はしていませんが、生徒達と話すことは、とても楽しく思っています。自分の子供が就学年齢に近づいてきた親の気持ちといったものをもった上での楽しさです。私もいさか成長したのでしょうか。とはいっても、授業中、生徒の質問にはとしたり、職員会議で、他の先生方の発言に視野の広さを感じたりの連続です。

自分の母校に奉職したので力いっぱいつとめているというのが現状です。

## 支部事務局だより

### ◇行事(昭56・57・5)

- 地区リーダー懇談会(56・10・24) 於神戸勤労会館 出席26名
- 本部会報、支部だより第5号、会計報告書発送(56・11・19)
- 内二九二通は手渡す
- 新年会(支部だより編集反省会をかねて)(57・1・6)
- 於竹葉亭 出席24名
- 支部総会・議事、小笠原平八郎氏講演(57・5・30)
- 於バーク 出席56名(新卒者5名)

### ◇お慶び

- 内匠慶子姉(昭18・保)兵庫

県教育功労者として(56・10・19)受賞

- 土井芳子姉(昭2・保)神戸新聞平和賞(57・5・3)受賞
- 内藤一子姉(昭18・文)兵庫県教育功労者として(57・5・3)受賞

### ◇陸会(満60歳以上の方々)

(56・10・22)於御影シティガールズ別館牡丹園、出席35名

### ◇協力お願い!!

戦後の混乱の中に小郷小福姉(大8・文)の創設された乳児院栄光園の改築募金、

一口二、〇〇〇円(幾口でも) 所 干別府市南莊園町3組 送金は佐保会神戸支部事務局宛

## △編集後記▽

新しい試みとして、第6号を姫路地区で編集することになりました。編集方針として、土地柄、内容を兵庫県全域からということになり、先ず大正時代の卒業の皆様、の消息、文芸も短歌のみ、フレッシュさんなど、広い範囲にお願いしました。また、地方の声として氷上那の方々と座談会をしました。が、紙面の都合で大きく割愛したのは残念でした。各地区での集まりも例年より多かったです。會員の皆様、の、忽ち響く反響に感動しながらの編集会でした。厚く御礼申し上げます。

表紙は、林利三郎画伯の作品を頂きました。ありがとうございます。 編集委員 香川敦子 溝川美枝子 名村喜久江 山下静香 土井千鶴子

報		計	
那須 滋乃姉(大5・数物)	(56・10・17)	堀尾 幸枝姉(昭25・理)	(55・6・12)
芳賀 和喜姉(大8・理)	(57・6・16)	野呂 芳姉(大14・臨理)	(55・1・6)
井口 えつ姉(大8・家)	(57・1・4)	有吉 恕子姉(大13・臨数)	(56・12・20)
沢野恵美子姉(大9・文)	(57・1・5)	小原きよ子姉(大13・保)	(56・8・9)
細見 和代姉(大10・家)	(55・1・13)	河野マチノ姉(大12・理)	(56・8・21)
畑 喜美代姉(大10・家)	(56・10・28)	野呂 芳姉(大14・臨理)	(55・1・6)